

# アジア共同学位開発プロジェクト 調査報告書

提出日：平成23年11月1日

報告者名：柴山直

○訪問先
中国・北京師範大学
○訪問期間
平成23年10月28日（水）
○訪問者
柴山直 教育学研究科教授(団長)、上埜高志 教育学研究科教授、小川佳万 教育学研究科准教授、安保英勇 教育学研究科准教授、朴仙子教育研究支援者、小野寺香(大学院生 D2)
○訪問の目的・経緯等
本プロジェクトに関する意見交換と協力依頼
○先方対応者
武海濤 主任（教育学部外事弁公室）高益民 副教授（国際・比較教育研究院） ほか3名
○成果
下記の成果が意見交換の結果得られた <ol style="list-style-type: none"><li>1. 東北大学サイドより「本プロジェクト実施に際して、既存の制度を使うのではなく、中国の中学校で行われている国際部のような仕組みは可能ではないか」の提案を行った。</li><li>2. 北京師範大学サイドから「可能かもしれない」との回答があった。</li><li>3. 開始時期に関しては来年の夏、東北大学でサマーセミナーを試みそこでノウハウを蓄積し、可能ならば再来年度から本格開始する予定を北京師範大学サイドへ伝える。</li><li>4. 心理系のこのような国際交流は北京師範大学でもほとんどないとの情報を得た</li><li>5. 修士課程リーダー教員養成プログラムは難しいとの認識が北京師範大学から示された。</li><li>6. 北京師範大学において、本プロジェクトへの参加は大学当局、教育院の許可が必要のためハードルは高いとの認識が示された。</li><li>7. 東北大学サイドよりシンポジウム、客員教授、大学間協定の打診をおこなったところ、 (1) シンポジウムへは心理系スタッフを中心に北京師範大学で調整する、(2) 大学間協定・部局間協定とも積極的に進める、との認識で一致した。</li><li>8. 協議を継続するとの点で意見の一致をみた。</li></ol>